

お祝いの言葉

長浜市長 藤井 勇治



菅浦文書が国宝へ指定されたことは私たち長浜市民にとって、大変光栄なことであります。

県内で52年ぶり、市内では64年ぶりとなるこの度の国宝指定は、長浜市民にとって大きな喜びでございます。また、庶民が残した村落文書が国の宝と認められたことは、日本初の画期的な出来事であり、大きな誇りです。

遺産を守りついできた先人たちに感謝し、まちづくりの資源として活用してまいります。

ごあいさつ

菅浦自治会

この度、菅浦文書が正式に国宝に指定され、あらためて地元自治会として大変名誉なことであり、嬉しく思います。先人たちが、ここ菅浦に「惣」という自治組織を築き、菅浦文書を残された。私たちはこの大切な歴史遺産を継承し、後世に伝えていく。その重責を担っていることを改めて感じます。

高齢化が進み「限界集落」といわれている菅浦ですが、この地域を活性化し、後世に引き継いでいきたいと考えています。



庶民が残した文化財 菅浦文書が国宝指定！

この度、重要文化財から国宝に昇格した菅浦文書は1,281通の文書と、掛軸として伝来した菅浦絵図(菅浦と大浦下庄界絵図)一幅からなっています。西浅井町菅浦の自治会に中世以来伝来したもので、現在は彦根市の滋賀大学経済学部附属史料館に寄託されています。時代は鎌倉時代から江戸時代に及び、昭和51年に国の重要文化財に指定されました。市内6件目の国宝誕生となりました。

文書に記されている内容は菅浦の歴史を反映し、中世の領主であった

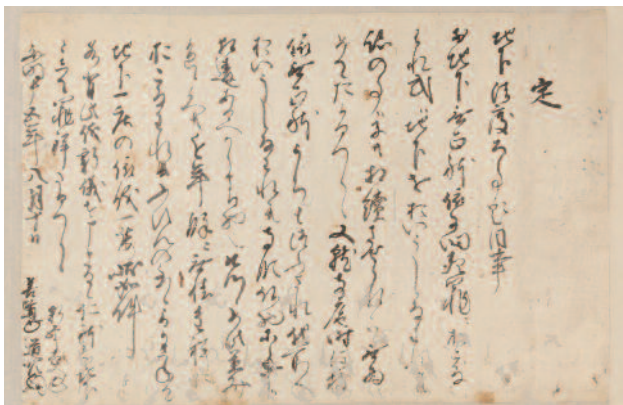


▲菅浦と大浦下庄界絵図(須賀神社蔵)
(滋賀大学経済学部附属史料館寄託)

比叡山や竹生島、さらには戦国大名浅井氏の統治に関わる史料など多岐にわたっています。

特に「惣」と呼ばれた中世の村落共同体の具体相を伝えた日本の「中世村落文書」の代表として、教科書でも取り上げられています。村落文書としては、明確な証拠のもとに罪人の裁判をするように取り決めた村の掟書や、村内唯一の田地である日指・諸河の地をめぐる、隣村との界相論を、住民自身が記録した「合戦記」などが含まれています。

菅浦絵図は鎌倉から南北朝時代にかけて、隣村との界相論に関して制作されたもので、竹生島領であった菅浦の領域や、竹生島の伽藍や景観をよく描写しています。全国で200枚弱ある中世庄園絵図の中で、五指には入るほど有名な作品です。国宝になったことを機に、さらに菅浦文書や菅浦絵図の価値を、全国にPRしていく必要があるでしょう。



▲菅浦惣庄地下置文(須賀神社蔵)
(滋賀大学経済学部附属史料館寄託)

外来診察の受付方法などが変わります

【市立長浜病院(☎68-2300)】

市立長浜病院では、電子カルテを利用した診療を行っており、1月1日(火)に電子カルテシステムの入替えを行います。

新しい電子カルテでは、外来診察の受付方法や各診療科での呼出方法などの運用の変更があります。

この電子カルテの入替えおよび外来運用の変更により、待ち時間等が長くなる場合があります。ご利用の皆さんには、ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力をよろしくお願いします。

詳しくは担当までお問い合わせください。

【主な変更点(1月4日以降)】

○受付後、発行される受付票に受付番号を印字します。診察中はなくさないよう保管してください。

○診療科前での呼出は、受付番号での呼出になります。(検査等での呼出は従来どおり名前でお呼びします)

※電子カルテ入れ替え作業期間中(12月31日(月)～1月1日(火)午前0時)は、救急外来における診療電子カルテが使用できないため、通常より診療時間が長くなる場合があります。

毎月第3日曜日は「けやきっ子読書の日」です

【市長図書館(☎63-1212)】

子どもたちが、園や学校、図書館はもちろん、家庭でも本に親しみ、読書を通じて家族がふれあうきっかけづくりとなることを願って、市では、毎月第3日曜日を「けやきっ子読書の日」としています。

一冊の本を家族で読みあったり、お気に入りの本をすすめあったり…子どもも大人も一緒に本に親しめる日をめざしています。

「けやきっ子」とは

市の木「けやき」のように、読書を通じてのびのびと豊かに生きる長浜の子どもたちのことをいいます。



オリジナル読書啓発ポスター

「つなごう 子どもと本のぼそう けやきっ子」をテーマに、市内の子どもたちから募集した作品の中から最優秀賞に選ばれた作品です。市立図書館はもちろん、市内各所に掲示しています。



湖北野鳥センター開館30周年記念観覧会・講演会を開催します

【湖北野鳥センター(☎79-1289)】

湖北野鳥センター開館30周年を記念し、30年をともに過ごした「山本山のオオワシ」を特集した観覧会と講演会を行います。

【と き】 12月16日(日) ※雨天決行

○第1部 9時～11時30分(8時30分受付)

観覧会 「山本山のオオワシに会いに行こう！」

【と ころ】 湖北野鳥センターから山本山山麓

【内 容】

山本山のオオワシの生態などの説明を聞きながら現地で観覧します。

【参加費】 入館料大人200円、市内小中学生無料

○第2部 13時30分～15時30分(12時30分受付)

講演会 「オオワシの生態と保護の現状」

【と ころ】 湖北文化ホール(湖北町速水)

【内 容】

ロシアで子育てをするオオワシの様子や、北海道での保護活動を講演していただきます。

【講 師】

猛禽類医学研究所副代表 渡邊 有希子氏

【参加費】 無料

※観覧会、講演会ともに申込不要です。